

1 事業情報

下水道事業評価(令和3年度)

担当課

下水道維持課

実施方針	I 快適な生活環境の実現	施策目標	1 生活環境の改善や河川の水質保全に努めます	施策	③ 下水道接続率の向上
	IV 下水道事業の経営の健全化		1 経営基盤を強化し経営の健全化に努めます		③ 下水道接続率の向上(再掲)

2 事業評価の概要

項目	内容							
施策目標	・生活環境の改善や河川などの水質を保全するため、下水道(汚水)の整備が進んでいない地域においては、引き続き、下水道(汚水)の整備に取り組みます。 ・将来にわたり安定した下水道サービスを市民に提供するため、経営基盤の強化に努めます。							
施策	下水道(汚水)は、市民に接続されてはじめてその効果(生活環境の改善や河川などの水質保全)を発揮します。さらに、下水道接続率を向上させることは、資産の有効活用や下水道使用料の収入確保にもつながることから、戸別訪問などによる接続促進活動を行います。また、下水道(汚水)に接続するための工事費用に対する支援の拡充について検討します。							
取組内容、数値目標及びスケジュール(単年度)	・職員による戸別訪問を実施し、下水道接続率の向上を図ります。 ・私道共同排水設備整備補助金の補助などを実施し、下水道接続率の向上を図ります。							
期間	令和3年4月	～	令和4年3月					
予算額 決算額		予算額			決算額			執行率
	単位:千円	総事業費	収益的支出	資本的支出	総事業費	収益的支出	資本的支出	単位:%
	事業費計	82,018	82,018	0	66,697	66,697	0	81%
	工事費	0			0			
	原材料費	0			0			
	委託料	0			0			
	賃借料	0			0			
	その他	82,018	82,018		66,697	66,697		81%
	人件費	13,035			13,035			100%

3 中間評価(事業の進捗状況)

執行状況	上半期執行額	3,390千円	事業進捗度	B 予定どおりの進捗
	上半期執行率	4%		
進捗状況	・新たな下水道の供用開始(9.12.2.3月)に際し、戸別訪問(配布)を行いました。 ・神根地区の一部において、下水道未接続世帯に対する戸別訪問(配布)を行いました。 ・私道共同排水設備整備補助金は、随時申請を受け付け、審査により、補助金交付の可否を決定しました。 ・水洗便所改造資金補助金は、随時申請を受け付け、審査により、補助金交付の可否を決定しました。			

4 終了時評価(事業の達成度)

達成状況	・新たな下水道の供用開始(9.12.2.3月)に際し、戸別訪問(配布)(416件)を行いました。 ・神根地区の一部において、下水道未接続世帯に対する戸別訪問(配布)(178件)を行いました。 ・私道共同排水設備整備補助金は、11件(新設9件、布設替2件)、水洗便所改造資金補助金は、268件(市内業者の工事131件、市外業者の工事137件)に対し、補助しました。 上記の結果、水洗化世帯数は前年度比1,227世帯増加しているものの、処理区域拡大に伴う下水道整備区域内世帯数も増加していることから、下水道接続率(世帯)は前年度比0.18%減の94.56%となっています。		
事業達成度	B 予定どおり成果を上げた		
事業達成度C～Eの理由			

5 指標

指標				R1	R2	R3	R4
指標名		単位	目標値				
算出式・根拠			実績値				

6 視点評価

視点	評価項目	視点評価	視点	評価項目	視点評価
効率性	投入した事業費に見合った成果を出せたか。	B 予定どおりできた	説明責任	顧客やパートナー企業等の意見や苦情に真摯に対応したか。	B 予定どおりできた
有効性	業務指標等の向上に貢献したか。	B 予定どおりできた	組織学習	事業目的達成のため、組織学習を十分行ったか。	B 予定どおりできた

7 総評価

総合評価	事業を実施する上での課題及び改善方針	今後の実施方針
B 予定どおり成果を上げた	水洗便所改造資金補助金は、試験的に運用している制度であり、令和3年度から5年程度継続実施し、効果の検証を行います。	現状維持で継続